



海田中学校だより

学校教育目標：「本気で考え 進んで実践できる生徒の育成」

平成29年10月6日 第6号
海田町立海田中学校
発行責任者 校長 大田 稔

平成29年度広島県「基礎・基本」定着状況調査結果

2年生を対象に6月13日に実施した「基礎・基本」定着状況調査の結果分析を行いました。今後、学力向上に向け、改善する指導内容に沿って学校として取り組んでまいります。

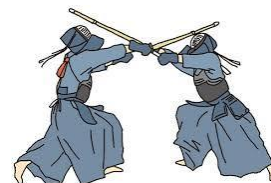
(指導方法の改善計画の詳細は学校のホームページに掲載しています。)

	本年度の結果について	重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）
国語	<p>通過率（本校 68.4%, 県 69.2%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 漢字練習等の反復学習を継続させつつ、授業や家庭学習で新聞を活用するなど、文章に多く触れる機会を設定し、語彙の習得・実生活で使用されている漢字の習得をさせていく。 条件に沿って文章を書くことや、設問の内容を十分に理解して解答することを今後も継続して指導していく。また、授業でグラフ等の資料を多く用いることで、資料を関連付けて読む力や、資料を根拠に文章を書く力を定着させていく。
数学	<p>通過率（本校 73.5%, 県 66.9%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文字の含まれない式と、数が文字に変わっている式を比較させ、文字が数の延長であることを認識させる。その上で、自ら問題を作成し、説明させる時間を設定し、理解を深める。 同じ内容の問題で式が変わる問題を複数させ、思い込みで式をつくらないように、しっかりと読むことを定着させる。 言葉と位置関係を覚えるだけでなく、それぞれの関係や違いを理解した上で、お互いに説明させる等の時間を設定し、定着をはかる。
理科	<p>通過率（本校 53.5%, 県 50.8%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> 考察をする際には、より明確に根拠を明示することを意識させる。特に、岩石をはじめ植物や動物を分類する際の視点を明確にさせる。 実験結果をグラフ[棒グラフ、折れ線グラフ、近似線グラフ等]で表現させ、それを使って考察させる。さらに、そのグラフに対する発問を行い、思考を深めるように促す。

	本年度の結果について	重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）
英語	<p>通過率（本校 77.7%, 県 72.4%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単数複数をもう一度復習すると共に,リスニングもメモをとりながら聞く, リスニングポイントを与えて聞くなどの活動を授業の中に組み入れていく。 ・表やグラフを含む長文を読みとる力をつけさせることが優先課題である。授業や宿題でグラフや表を含む英文を解く機会を増やしていく。

広島県総合体育大会 がんばりました

9月30日(土)・10月1日(日)に行われた県総体では、安芸郡、呉・賀茂の代表として剣道部・野球部・陸上部の森岡さんが出場しました。日頃の練習の成果を発揮し、がんばりました。応援してくださった保護者の皆様・地域の皆様ありがとうございました。



剣道部男子団体戦で第2位になりました。

教育相談をしています

3年生は、9月の中旬から1、2年生は10月の初旬から昼休憩や放課後の時間を利用して学級担任が日頃の学校生活や進路等に関わる相談をしています。

この教育相談は、生徒が抱える課題や不安を早期に発見、支援し、問題が慢性化、深刻化する前に解決して学校生活をより良いものにするを目的に行っています。

ご家庭の方で、気になることがあれば学校に連絡してください。

～海田鼓童子が国民文化祭「太鼓の祭典」に出場～

本校生徒の11名が所属している海田町の子ども和太鼓グループ「海田鼓童子」が10月15日に奈良県大和郡山市で行われる国民文化祭「太鼓の祭典」に県代表として出演します。日頃の練習の成果を発揮し、見ている人たちに感動を与えてください。

なお、10月28日(土)に行われる本校の文化祭に、「海田鼓童子」の皆さんに演奏していただきます。ぜひ、ご観覧ください。(11:25～11:55の予定です。)

体罰・セクシュアル・ハラスメント相談窓口について

教育活動や生徒に係る心配事などの相談に応じます。

・電話 (082) 822-2258

・相談窓口(担当者)

岡田 均(教頭 男性)

久保 宏 孝(主幹教諭 男性)

野島 悠 志(生徒指導主事:男性)

葛原 昭 子(養護教諭 女性)